

グレーター東大塾開講に関する記事掲載依頼について

1. 背景

2010年3月26日に、「東京大学行動シナリオ—FOREST2015—」が発表されました。「重点テーマ」の一つに、「卒業生との緊密なネットワークの形成」が盛り込まれ、以下のことが、目標として掲げられています。

1. 全ての卒業生が、生涯にわたって大学との絆を持ち続け、世界的視野に立って、公正な社会の実現や科学・文化の創造に貢献し続けること。
2. 卒業生の知的活動を促進させるとともに、大学の活動に卒業生自らが参画する仕組みを構築すること。
3. 同窓会活動を積極的に支援し、卒業生ネットワークという無限の知の連環体を押し広げて、厚みをもたせていくこと。

このような目標を達成し、卒業生活動をより活性化していくために、2010年度の活動として、「卒業生のための生涯学習プログラム」や「卒業生によるボランティア活動支援プログラム」などの、卒業生活動新機軸プロジェクト「TSII (TODAI Social Innovation Initiative)」を新しい活動の柱に据えて卒業生室を中心に組み組んでいくこととしました。

2. グレーター東大塾とは

東京大学は、国民から付託された知の資源を最大限に活用し、社会各層と幅広く手を携えながら未来の社会に対する公共的責任を担っていかねばなりません。

今回開講するグレーター東大塾は、上記「卒業生のための生涯学習プログラム」の一環で先端専門性に焦点を置き、現実社会の身近なテーマを取り上げ、塾長となる教授の指導のもとに展開するユニークなものです。

第1回は、国土の3分の2の森林を持つ我が国が森林資源の活用による新たな産業の創造を目指すため、技術的課題を明確にするとともに、外部講師を含む多士済々の専門的立場から木材産業の国際化等産業創出の糸口を議論いたします。

今後は、先端専門の現代的テーマを取り上げ、継続的に開講していく予定です。

グレーター東大塾01

1. テーマ 「木の社会の実現に向けて」
2. 塾長 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 安藤 直人
3. 期間 平成22年11月より 平成23年3月まで
平日夜 1コマ2時間半 全12コマ（プログラムは下記参照）
4. 参加費用 28万円
5. 場所 東京大学弥生キャンパス 向ヶ岡ファカルティハウス
6. 背景 公共建造物木造化促進法等、森林の再生、次世代林業の創造に向けて多くの努力が行われ始めたこの時期を捉え、学外の協力も得ながら東大の持つ知的資産を総動員し、産官とも協力して社会変革の可能性を探る。
7. 参加対象者 木材関連事業・行政関係者、本テーマに関心の強い個人及び法人派遣者、新規事業企画担当者等
主に卒業生を中心とするが、それ以外も参加可能
8. 応募方法 東大アラムナイ ホームページ
<http://tsii.todai-alumni.jp/gtc> を、ご参照ください。
9. プログラム（詳細は、<http://tsii.todai-alumni.jp/gtc> を、ご参照ください。）
 - 第1回 11月10日 「木の可能性」
 - 第2回 11月17日 「森林資源の現状」
 - 第3回 11月24日 「木材産業の現状」
 - 第4回 12月8日 「住宅生産の現状」
 - 第5回 12月22日 「中間まとめ」
 - 第6回 1月12日 「住宅のコスト分析」
 - 第7回 1月26日 「日本の現状とこれから」
 - 第8回 2月9日 「木質構造新時代」
 - 第9回 2月16日 「海外の現状」
 - 第10回 2月23日 「新技術の展望」
 - 第11回 3月9日 「木材ビジネス展望」
 - 第12回 3月23日 「まとめ」



安藤直人教授プロフィール

1950 年東京都生まれ。東京大学農学部林産学科卒、同大学院修士課程修了。農学博士。専門は木質材料学。住宅メーカーを経て、再び母校にて教鞭を執る。現在、木質構造研究会会長、木材輸出振興協議会会長、日本木材学会評議員等を務める。2001 年、木質材料・木質構造技術研究基金賞、2002 年、日本建築学会作品選奨等多数受賞。

このプレスリリースに関するお問合せ先

グレーター東大塾事務局（東京大学卒業生室内）

担当：山路、覚張（かくばり）、林

〒113-8654

東京都文京区本郷 7-3-1